

氏名	矢野 哲也	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	病理検査学、細胞診断学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1997年埼玉県立衛生短期大学衛生技術学科、2012年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程、2017年東京医科歯科大学保健衛生学研究科博士後期課程				
経歴	1997年国家公務員共済組合連合会虎の門病院病理部 臨床検査技師、2011年慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室 技術員、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	日本臨床衛生検査技師会、東京都臨床検査技師会、埼玉県臨床検査技師会、日本病理学会、日本臨床細胞学会、日本顕微鏡学会、医学生物学電子顕微鏡技術学会、日本臨床検査学教育協議会、メディカルLVSEM研究会				

【2025年度実績】

1. 研究業績									
(1) 著作(著書及びその他の著作物)									
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月	
1	該当なし								
(2) 論文									
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名		発表等年月	
1	該当なし								
(3) 学会発表									
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月		
1	「臨地実習前技能到達度評価」での一般検査部門統一評価案実施結果の報告	共	第19回日本臨床検査学教育学会学術大会、岡山市		○岡田茂治，安藤克己，廣渡祐史，有竹清夏，伏見もも，久保田亮，岸井こずゑ， <u>矢野哲也</u> ，伊藤さやか，中村潤子，井原 寛子，村井美代		2025.8		
2	生後発達過程において増加するメカニカルストレスと膝関節靱帯成熟過程の関連	共	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第16回学術集会		○吉野佳那子、斉藤陸、角替春紀、宇佐美優奈、坂巻亜耶、 <u>矢野哲也</u> 、国分貴徳		2025.11		
3	Microstructural Maturation of the Anterior Cruciate Ligament and the Medial Collateral Ligament During the Postnatal Development in Murine	共	Orthopedic Research Society, 2026 annual meeting, USA		○Haruki Tsunogae, Yuna Usami, Riku Saito, <u>Tetsuya Yano</u> , Takanori Kokubun		2026.3		
(4) その他									
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月		
1	該当なし								
2. 競争的資金等の研究									
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間		
1	該当なし								
3. 教育業績									
(1) 講義									
	講義の名称	科目責任者	コマ数		概要（教育内容・方法等において工夫した点）				
1	病理検査学Ⅰ	○	15		2年次生を対象に、病理学各論（循環器、呼吸器、消化器など）、病理検査学について講義を行った。				
2	病因病態検査学		2		大学院博士前期課程健康福祉科学専修1年次生を対象に電子顕微鏡を用いた研究法について講義を行った。				

（２）演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	病理検査学Ⅱ	○	9	3年次生を対象に、細胞診検査についての講義、標本作製実習、標本観察実習を行った。
2	検査総合演習		1	病理検査学に関する国家試験対策のポイントを解説した。
3	臨床検査基礎演習		8	1年次生を対象に実習先病院の見学付き添い、病理組織標本観察を通して病理検査学の基礎を学ぶ実習を行った。
4	病理学特論	○	8	4年次生を対象に、病理組織標本、細胞診標本をディスカッション顕微鏡で教員とともに観察しながら、組織学や病理診断について解説や口頭試問を行った。
（３）実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	病理検査学実習Ⅰ	○	24	2年次生を対象に、ブタ臓器を用いた切り出しから標本作製を行い、病理組織標本作製の基礎を実習した。
2	病理検査学実習Ⅱ	○	24	3年次生を対象に、病理組織標本作製における応用的な検査法（特殊染色、免疫染色など）を実習した。
3	ヒューマンケア体験実習	○	2025.4～9	第9グループの科目責任者として実習運営や学生指導を行った。
（４）論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
（５）その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4．社会貢献活動				
（１）講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第18回病理学技術者講習会	日本臨床検査同学院	講習会の運営、病理検査従事者に対する薄切、標本評価などの実技指導を行った。	2025.6
2	一般公開講座 生命科学体験教室 血液からわかること	埼玉県立大学	小学生を対象に血液塗抹標本作製や血球の観察などの実習を行った。	2025.7
3	一般公開講座 生命科学体験教室 魚の顕微鏡標本を作ろう	埼玉県立大学	小学生を対象にシロウオを用いた組織標本を作製し、観察実習を行った。	2025.7
（２）国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	メディカルLVSEM研究会	世話人		2026.1～2026.3
（３）ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
（４）その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	PCLジャパン	検査センターで細胞診検査業務を行い地域医療に貢献	2025.4～2026.3
5．学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	カリキュラム検討部会		2024.4～2027.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター		2025.4～2026.3
3	学科等における委員会等	検査技術科学専攻教務担当		2025.4～2026.3
4	検査技術科学専攻学年担任	検査技術科学専攻3年生及び4年生担任		2025.4～2026.3
5	大学広報活動	オープンキャンパス病理検査担当		2025.6～2025.8

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		